

学年	教科等	単元名	日時
第4学年	外国語活動	What time is it? 今、何時?	令和元年7月3日(水)
本時における「深い学び」	自分やペアの友達の生活について、伝えたい内容に合わせて級友に伝わるように、使う英語やジェスチャーを選んで表現づくりをしている姿があれば深い学びがあると捉えます。		

**「深い学び」のある授業を創造するために、下記の手立てを取りました。**

**○ 相手意識を醸成する表現づくりの工夫**

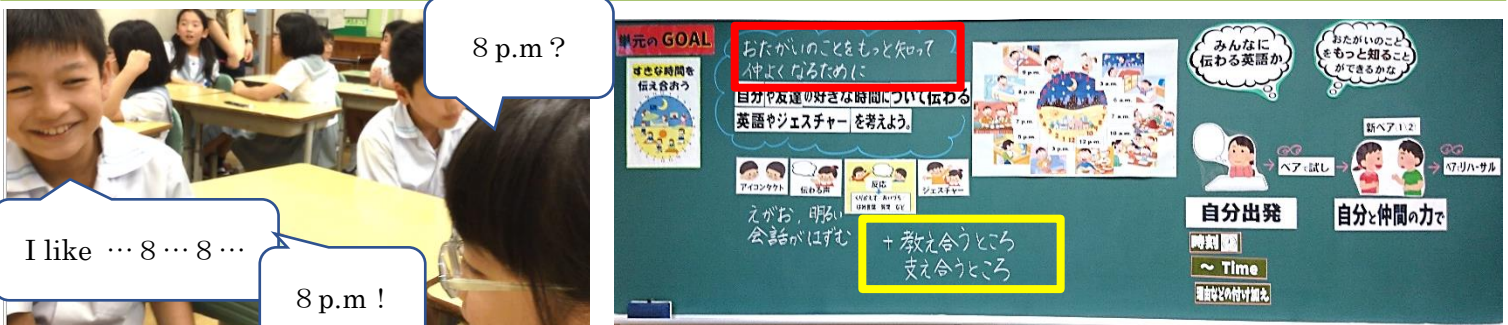
- 自分の表現だけでなく、友達の表現も考えるようにする。
  - 友達が伝えたいことに関心を持ち、質問やアドバイス等を行い、級友に伝わるように、より工夫しようとするのではないか。
  - 相手と自分の生活の共通点を喜んだり、その人ならではの日課や好きな理由に興味をもったりする経験を積みなかで相手意識が徐々に醸成されていくのではないか。

**○ 表現力の高まりを実感させるふりかえりの工夫**

- 複数回ペアを作って単元のゴールと同じやり取りをし、その中で繰り返し同じ英語やジェスチャーを使う、使う英語やジェスチャーを変える、付け加えるといった工夫をする。その後、ペアで意見交換をしたり、代表ペアのやり取りを全体で視聴し、よいところを共有したりする。
  - 本時めざす姿とはどのような姿なのか、全員が共有したうえでふりかえりをさせることで、自分や級友の表現力の高まりを実感することができるのではないか。
- 「みんなに伝わる英語か」「おたがいのことをもっと知ることができるかな」という言葉を示す。
  - 目的がより明確になり、表現内容の工夫につながるのではないか。
- 個人で考える→ペアで試しに伝え合う→ペアを変えて伝え合ったり、意見交換したりする→(最初の)ペアでリハーサルする、という流れで行う。自分や友達の表現について考える姿を称賛する。
  - 全員が自他の表現力の高まりを感じることができるのではないか。

**子どもの姿**

- めあてをたてる場面
  - 「何年間も一緒に学校という同じ場で過ごしている級友であってもどの時間が好きか知らない」「伝え合ったらお互いのことをもっと知ることができる」「もっと仲良くなれそう」という思いをもっていた(板書写真の赤枠の部分)。
- ペアで表現づくりをする場面
  - “9 p. m.”と時刻のみを英語で言っていた子どもが、ペアの友達に“Bed time?”と尋ねられ、その後はペアの相手が変わっても“bed time”という英語を入れて会話するようになった。
  - 自分で英語に言い換えたり、友達のアドバイスを受け入れたりする姿があった。
  - ペアが変わっても英語が増えたり、変わったりすることなく同じ英語をずっと使っている姿があった。
  - 日本語を使ってジェスチャーをあまり活用していない姿があった。
- 表現づくりの前に教師と代表児童のデモンストレーションを視聴する場面
  - ふりかえりの前に代表ペアのやり取りを視聴する場面
  - アイコンタクトや英語で反応を返していたこと、会話がはずむようにしていた等のよいところを発表していた。
  - 代表ペアの視聴の際は「分からないときに教え合っていた」「相手が困っていても優しく笑顔で支えていた」という気づき加わった(板書写真の黄色枠の部分)。



**実践をふりかえって**

ペアが変わっても同じ英語を使っていた子どもが次時のゴールに向けて意欲を高める記述をしており、同じ英語を繰り返すことで自信を高めたことがうかがえる。これも表現力の高まりであると捉えてよいのではないか。

「英語にすることが難しいところを何とか英語やジェスチャーで表さずに日本語で話しすぎているのではないか」という御意見をいただいた。子どもに負担感をもたせないように、小学校段階での英語と日本語の組み合わせについて整理していきたい。

また、ふりかえりの前に代表ペアのよいところを発表することは有効であったが、「もっとめあてに立ち返った方がよかった」という反省もある。目の前の相手とのやり取りを楽しみながら自分や友達の表現力の高まりを実感し、自信を高められるよう、本時でめざす姿を全員が共有できる手立てについて考えていきたい。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

# 授業実践計画

## ○ 指導計画（5時間）

- (1) 好きな時間や日課を伝え合うときに使う英語に慣れ親しんだり、世界には時差があり、外国の子どもにもそれぞれの生活があることに気付いたりする。—— 3時間
- (2) 好きな時間や日課を伝え合うために英語やジェスチャーを考えたり表現したりする。—— 1時間（本時）
- (3) 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きな時間や日課について伝え合う。—— 1時間

## ○ 本時の目標

自分や友達の好きな時間や日課が、級友に伝わるように、英語やジェスチャーを考えたり表現したりする。

## ○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 「好きな時間や日課を伝え合う」という目的、場面や状況を確認し、本時のめあてを設定する。</p> <p>○ 本時のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おたがいのことをもっとよく知るために、自分や友達の好きな時間について伝わる英語やジェスチャーを考えよう。</p> </div> <p>2 教師のやり取りを視聴し、自分やペアの友達の好きな時間についての表現を考え、リハーサルをする。</p> <p>○ やり取り例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Hello, B.            B: Hello, A.            A: How are you?            B: I'm fine. And you?            A: I'm happy. Can I go first?            B: Sure.            A: I like 8 o'clock.            B: You like 8 o'clock. Why?            A: Because it's "Dinner Time". I like rice. Do you like rice?            B: Yes, I do. I like rice, too.            A: How about you?            B: I like 8 p.m., too.            A: Why?            B: Because it's "Bath Time". I like my new shampoo. Do you like "Bath Time"?            A: Yes, I like "Bath Time".            B: Good. Nice talking to you.            A: Nice talking to you, too.</p> </div> <p>3 代表のやり取りを視聴し、よいところを発表する。</p> <p>○ 好きな時間についてみんなに伝わる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなに分かる英語</li> <li>・ ジェスチャーやアイコンタクト等の非言語</li> </ul> <p>○ 話し手と聞き手が支え合う姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語が分からないときに教える 等</li> </ul> <p>4 本時の学習をふりかえる。</p> <p>○ ふりかえりの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工夫したことや友達のよかったところ</li> <li>・ 次時の単元のゴールに向けて</li> </ul>	<p>○ 何年も共に過ごしてきた同級生であっても互いの生活について知らないことが多いことを確認し、伝え合う必要感や期待感をもてるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>目的:</b> 好きな時間や生活を伝え合い、互いのことをより知るため。</p> <p><b>場面や状況:</b> 次時の本番に向けてリハーサルする。</p> </div> <p>○ 学習活動3に挙げていることを意識しながら教師と代表の子どもによるやり取りを行い、よかったところを共有することで、自分たちの表現を考えるときに同様の思考が働き始めるようにする。</p> <p>○ 複数の友達とやり取りをするなかで学習活動3に挙げていることを意識する姿や、次のような姿を称賛することで、一緒に表現づくりをしながら自他の表現力の高まりを感じることができるようになる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問やアドバイス等をして相手の表現についても考えている。</li> <li>・ 繰り返し同じ英語やジェスチャーを使う。</li> <li>・ 英語等を変えたり、付け加えたりする。</li> </ul> </div> <p>○ ペアを変えてやり取りをしたあとに最初のペアで再度やり取りしたり意見交換をしたりすることで、自他の表現力の高まりを実感できるようにする。</p> <p>○ 本時めざす姿とはどのような姿なのかを全員に共有させることで、本時の自分やペアの友達、代表のやり取りを照らし合わせながら、外国語によるコミュニケーションで大切にすることや、表現力の高まりについてふりかえりができるようにする。</p> <p>○ 次のような内容を紹介することで、自信や安心感を高めて次時に臨むことができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自他の表現の工夫</li> <li>・ 友達と一緒に考えたり教え合ったりする姿</li> <li>・ 次時がんばりたいことや楽しみなこと</li> </ul> </div>

## ○ めざす子どもの姿

好きな時間は5時だから o'clock を使えばいいな。○○さんの「ピアノを弾く時間が好き」というのも素敵だな。理由に music を使ったらどうかな。勧めてみよう。【思考・判断・表現】

